

吉野熊野国立公園 利用者インタビュー調査結果

近畿管区行政評価局
第二部第1評価監視官
依藤 進 06-6941-8905

I 調査の概要

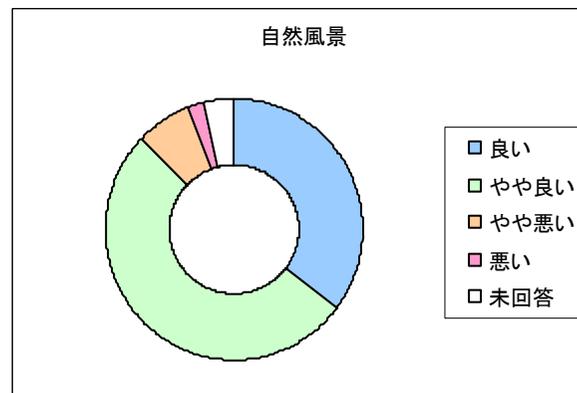
- 調査方法 : 当事務所職員が、現地において公園利用者から国立公園の利用に関する意見・要望等について、直接聴き取り調査を実施した。
- 実施箇所 : 吉野山地区(近鉄吉野駅前、吉野山ビジターセンター周辺)
大台ヶ原地区(大台ヶ原ビジターセンター前)
- 調査日 : 平成19年5月20日(吉野山地区)、同5月27日(大台ヶ原地区)
- 回答者数 : 497人(吉野山地区197人、大台ヶ原地区300人)
- 主な設問 : ○ゴミ、広告等による自然、風景の損傷状況 ○公園内の施設の維持管理状況○公園利用者のマナーの状況

II 調査結果

設問1 広告、自動販売機、ゴミなどで国立公園の自然や風景が損なわれていると感じられた場所などありましたか。

公園利用者のゴミの持ち帰り意識が広く浸透しているためか、ゴミの散乱等により自然や景観が損なわれているという意見は全体の 8.8%程度であったが、観光名所となっている場所(吉野山の金峯山寺周辺、大台ヶ原の日出ヶ岳展望所等)での空き缶、ペットボトルのポイ捨てを指摘する意見がみられた。

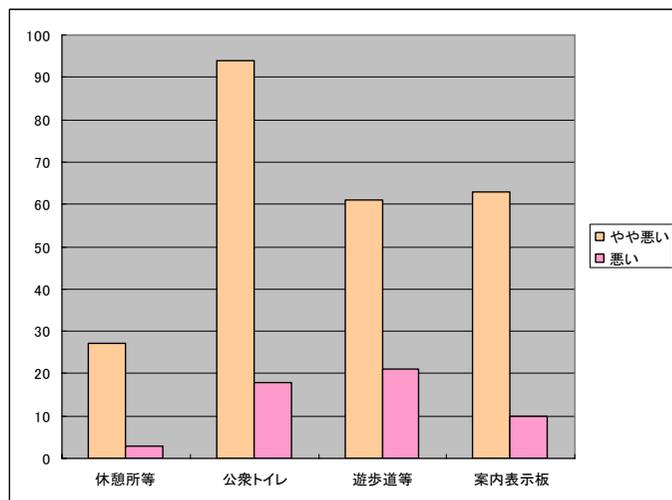
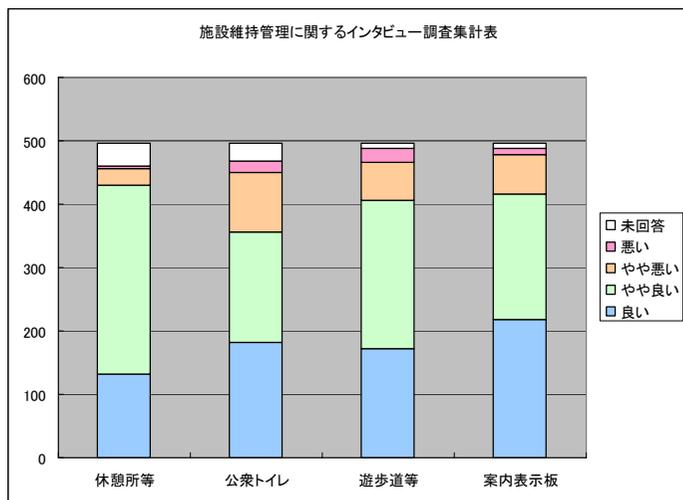
評価	自然風景	構成比(%)
良い	175	35.2%
やや良い	258	51.9%
やや悪い	35	7.0%
悪い	9	1.8%
未回答	20	4.0%
合計	497	100.0%



設問2 公園内の施設の維持管理の状況について、感じられたことをお聴きします。

公園内の、①休憩所・展望所・ビジターセンター、②公衆トイレ、③遊歩道・登山道、④案内表示板について、その維持管理の状況について質問したところ、「悪い」「やや悪い」という意見は、「公衆トイレ」(22.5%)に対するものが最も多く、次いで、「遊歩道・登山道」(16.5%)に対して指摘するものが多く聞かれた。

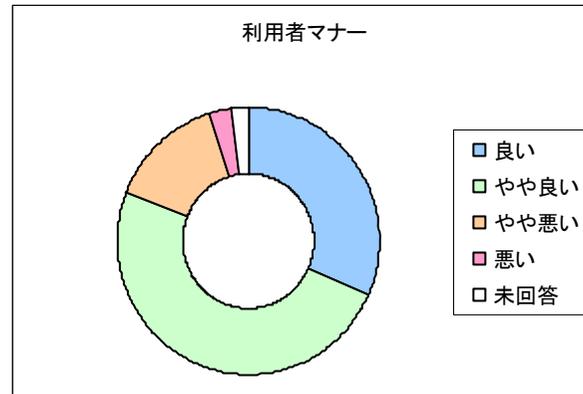
評 価	休憩所等		公衆トイレ		遊歩道等		案内表示板	
	意見数	構成比	意見数	構成比	意見数	構成比	意見数	構成比
良い	132	26.6%	182	36.6%	173	34.8%	218	43.9%
やや良い	298	60.0%	174	35.0%	233	46.9%	198	39.8%
やや悪い	27	5.4%	94	18.9%	61	12.3%	63	12.7%
悪い	3	0.6%	18	3.6%	21	4.2%	10	2.0%
未回答	37	7.4%	29	5.8%	9	1.8%	8	1.6%
合計	497	100.0%	497	100.0%	497	100.0%	497	100.0%



設問3 公園利用者のマナーが悪いと感じられたことはありましたか。

公園利用者のマナーについては、16.9%が「やや悪い」あるいは「悪い」としており、具体的な内容としては、吉野山地区では、「歩行中の喫煙」、「狭い道路での車のスピード出しすぎ」、大台ヶ原地区では、「遊歩道の柵を越えている人を見かける」「犬連れの人がいる」という指摘が多くみられた。

評価	利用者マナー	構成比
良い	157	31.6%
やや良い	245	49.3%
やや悪い	72	14.5%
悪い	12	2.4%
未回答	11	2.2%
合計	497	100.0%



上記のほか、大台ヶ原地区で、駐車場内のアイドリングストップや西大台地区の利用調整地区指定に伴う立入規制の周知状況についても質問を行った。

公園駐車場がアイドリングストップとなっていることについて、知らなかったとするものが54.5%あり、また、西大台地区が全国初めて利用調整地区に指定され、平成19年9月1日から事前申込手続き(有料)なしでは立ち入りできなくなることも、74.2%が知らないとしている。

回答	アイドリングストップ(構成比)	利用調整地区の指定(構成比)
知っている	127(42.5%)	73(24.4%)
知らなかった	164(54.5%)	223(74.2%)
未回答	9(3.0%)	4(1.3%)
合計	300(100%)	300(100%)

